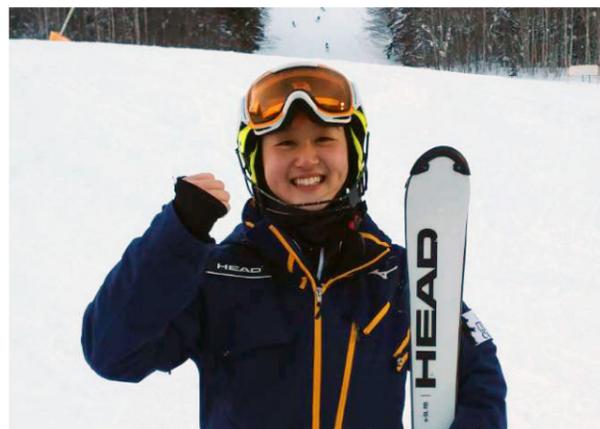


満永梓咲さん全国大会出場へ

1月15日(土)に富良野スキー場で行われた令和3年度北海道中学校体育大会第54回北海道中学校スキー大会にて、満永梓咲さん(占冠中学校3年)がスラローム競技においてみごと10位という成績を収め、全国大会への出場権を獲得することができました。

令和3年度全国中学校体育大会第59回全国中学校スキー大会は、2月1日から4日にかけて長野県野沢温泉村で行われる予定です。



桜の合格箸をいただきました

合同会社しもかぶ工房(吉田耕一代表)から、占冠中学校3年生4人に、合格祈願の願いをこめた木工クラフト『桜の合格箸』が寄贈されました。

合格箸は、合格を意味する「サクラ咲く」にちなみ、箸の原材料には山桜が使用されています。また、「合格」にかけて五角形に仕上げられているのが特徴です。

『桜咲く 合格つかむ 五角箸』まさに、受験生にとって心強い縁起物です。



藤本前教育長に感謝状

令和3年12月27日(月)、藤本前教育長に北海道教育庁上川教育局長感謝状が贈られました。

藤本さんは、平成21年7月就任から12年の間で、公設塾やコミュニティスクール、村内学校における小中一貫の取り組みを進め、トマム学校を義務教育学校とし、また、村内学校のICT化については道内でもいち早く着手し、占冠村の教育振興に大きく貢献してきました。藤本さんは、「占冠村の子どもたちが平等に学べる環境を作りたいと務めてきた。自分の考えたことはほぼできたと思う。」と話していました。



出初式で1年の志気を高める

1月5日(水)に富良野消防署占冠支署前で、令和4年占冠消防出初式が行われました。

感染防止のため規模を縮小しての開催ですが、寒空のもと消防職員、各分団より消防団員が整列し、来賓による観閲が行われました。

その後、コミュニティプラザに会場を移して式典が行われ、富良野広域連合長感謝状、北海道消防協会長表彰、占冠消防団長表彰、占冠村消防後援会長感謝状が団員の代表に手渡されました。



野生動物保全技術実習の開催

野生鳥獣管理の人材育成に取り組む酪農学園大学では、今般の新型コロナの影響で、秋恒例の占冠実習を含むさまざまな学外実習が軒並み中止となり、教育上、大きな打撃を受けました。この穴を少しでも埋めようと、道内の感染状況が落ち着いた12月、同大学と連携協定を結ぶ占冠村が協力して、学科の全3年生76人を対象に、冬期の野外行動とシカの解体処理を一日集中で学ぶ実習を企画、開催しました。

当日は村の野生鳥獣専門員が講師を務め、山林での安全で効率的な歩き方、地形図の判読、野生動物の痕跡観察などを学びました。また野生獣処理加工施設『ジビエ工房』では捕獲されたシカを使い、衛生管理に配慮した解体作業を体験しました。学生の皆さんは、慣れない雪山に苦戦しながら動物たちの生活に思いを致し、解体を通じて死骸を食材に変えていく喜びと責任を実感した様子でした。寒さや匂いの中で、怪我のリスクや疲労も伴う、リモートやバーチャルに代えられない生の体験が、将来の技術を支える骨髄になっていくことでしょう。

村は今後も、持てる施設や人材、猟区の枠組みを活用して、野生鳥獣管理を担う人材の育成に貢献していきます。



しむかっぴーからプレゼント

12月23日(木)にトマム保育所で、24日(金)に占冠保育所でクリスマス会が開かれました。

サプライズでサンタに扮したしむかっぴーが登場し、子どもたちへのクリスマスプレゼントが手渡されました。子どもたちは大好きなしむかっぴーからプレゼントをもらって大喜び。

また、それぞれの保育所には、占冠村商工会青年部から子どもたちがみんなで遊べるプレゼントも贈られました。